

化学と教育

第58巻 第2号 2010年 目次

◇ 化学教育 徒然草

開発途上国型（教える）教育を脱却して先進国型（考える）（才能を延伸する）教育に切り替えよう

大木 道則..... 59

◇ ヘッドライン：物質の起源を探る

物質の起源を探る 中井 泉..... 62

農産物と食品の起源を探る 中野 明正, 矢野 博..... 64

大気汚染物質の起源を探る —光化学オキシダントを中心として— 梶井 克純..... 70

遺留品の起源を探る 西脇 芳典..... 74

◇ レーダー

強誘電性高分子～その豊かな物性 高橋 芳行..... 78

酵素を使わずに光で遺伝子进行操作する 藤本 健造..... 80

◇ 実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル

タンパク質の性質を確認する実験 小林 邦佳..... 82

全国実験情報

過酸化水素の性質と酸素の発生実験 西田 哲也..... 84

◇ 講座：電磁波と物質の相互作用

X線結晶構造解析の原理と実際 山口健太郎..... 86

X線, シンクロトロン放射光で何を観ているか 石井 秀司..... 90

◇ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学

男性型脱毛症の治療薬 森岡 進..... 94

△ 化学と教育誌編集委員会から

「化学と教育」誌 投稿規定..... 96

「化学と教育」誌 投稿の手引き..... 97

ヘッドライン企画趣旨

食肉やウナギの産地偽装問題、国境を超える大気汚染物質の飛散など、化学物質の起源を探る技術の開発が各種社会問題を通して必要とされている。また、殺人事件やひき逃げ事件などの犯罪現場に残された遺留品から、犯罪者の情報を抽出するのも、その遺留品の起源を探る作業と言える。このような物質の起源を探る技術について解説する。

△ 日本化学会より

プログラムの分冊化および講演予稿集の分冊化について.....	99
■ 行事一覧.....	99
■ 書評.....	100

お詫びと訂正

57巻12号に57巻の表紙の写真の解説を掲載しました。その中で「ボイルの処女作」と記しましたが、正しくないのご指摘をいただきました。表紙の図が記載されている本は1662年の出版物で、ボイルはそれ以前から、この本の第一版(1660)や、主著といわれる『懐疑的化学者』(1661)を出版していました。1660年に出版した空気の弾性の本にたいしてリヌス神父から批判を受け、それに答えるかたちでこの第二版を出版し、そこに補遺としてボイルの法則の実験を付け加えました。

また58巻1号の表紙の言葉にも誤りがありましたので、お詫びして以下のように訂正します。

1行目 榕庵→榕菴, 3行目 Liefthbbers → Liefhebbbers, 5行目 川上→川本に訂正。

ご指摘いただいた化学遺産委員会委員の内田先生に謝意を表しますとともに、お詫びして訂正いたします。

次号予告 58巻 3号

ヘッドライン : 宇宙と化学

ヘッドライン	宇宙機における化学の役割.....	曾根	理嗣
	宇宙における生命維持の化学.....	大西	充
	宇宙空間での科学実験.....	井口	洋夫
講	電波天文観測で宇宙物質を探る：化学との深いつながり.....	高野	秀路
座	赤外線で有機化合物を見分ける.....	熊本	卓哉
	赤外線による分子構造解析とレーザー光源.....	中永	泰介